

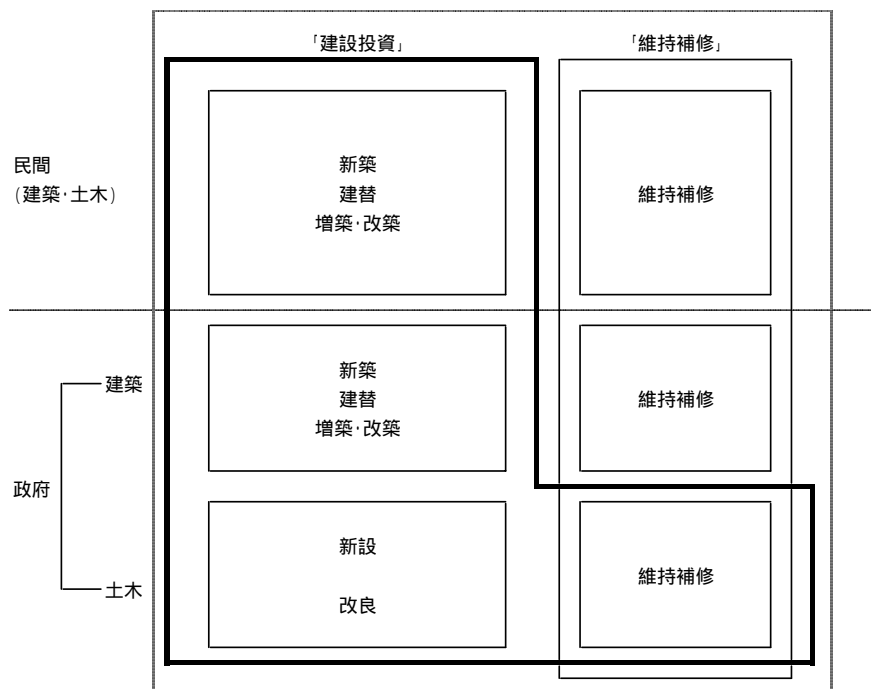
建設投資等の中長期予測

- 2010 年度及び 2020 年度の見通し -

(財)建設経済研究所

1. 予測の対象

- ・予測の対象としての「建設投資」及び「維持補修」の概念は下図の通り。
- ・予測は95年度価格の実質ベース。



2. 予測の前提

経済成長率(実質)は、

- ・ 2004・2005年度は、建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し(2004年7月)」の実質GDP見通し(2004:3.0%、2005:1.3%)
- ・ 2006年度から2010年度までは、年率1.5%
- ・ 2011年度から2020年度までは、年率2.5%、2.0%、1.5%、1.0%の4つのケースを設定。

3. 予測結果

	(参考) 2003年度 (名目)	ケース1		ケース2		ケース3		ケース4		
		2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度	
		GDP成長率1.5%	GDP成長率2.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率2.0%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.0%	
		2010年度	2020年度	2010年度	2020年度	2010年度	2020年度	2010年度	2020年度	
建設投資	55.2	53.9	48.4 ~ 51.5	48.2 ~ 51.4	47.6 ~ 50.8	45.1 ~ 48.3	47.3 ~ 50.5	42.7 ~ 45.8	46.9 ~ 50.1	39.9 ~ 43.1
政府	23.5	23.0	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5	15.3 ~ 18.5
民間	31.7	30.9	33.0	32.8	32.3	29.8	32.0	27.3	31.5	24.6
民間住宅	18.4	17.9	17.9	14.4	17.9	14.0	17.9	13.7	17.9	13.3
民間非住宅(建築)	8.0	7.8	9.5	12.7	9.1	10.6	8.9	9.0	8.6	7.2
民間非住宅(土木 (道路四公団分))	5.3	5.2	5.5	5.7	5.3	5.1	5.2	4.7	5.0	4.0
	—	—	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1

	(参考) 2003年度	ケース1		ケース2		ケース3		ケース4	
		2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度	2006-2010年度	2011-2020年度
		GDP成長率1.5%	GDP成長率2.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率2.0%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.5%	GDP成長率1.0%
		2010年度	2020年度	2010年度	2020年度	2010年度	2020年度	2010年度	2020年度
維持補修	22.4	24.2 ~ 24.4	28.1 ~ 28.5	24.1 ~ 24.3	27.8 ~ 28.0	24.1 ~ 24.2	27.4 ~ 27.6	24.0 ~ 24.2	27.0 ~ 27.1
政府	6.3	5.8 ~ 6.0	5.7 ~ 6.0	5.8 ~ 6.0	5.9 ~ 6.0	5.8 ~ 6.0	5.9 ~ 6.0	5.8 ~ 6.0	5.9 ~ 6.0
政府土木	5.4	5.1 ~ 5.2	4.9 ~ 5.1	5.1 ~ 5.2	4.9 ~ 5.1	5.1 ~ 5.2	4.9 ~ 5.1	5.1 ~ 5.2	4.9 ~ 5.1
政府住宅	0.3	0.2 ~ 0.2	0.2 ~ 0.3	0.2 ~ 0.2	0.4 ~ 0.3	0.2 ~ 0.2	0.4 ~ 0.3	0.2 ~ 0.2	0.4 ~ 0.3
政府非住宅	0.6	0.5 ~ 0.6	0.6 ~ 0.7	0.5 ~ 0.6	0.6 ~ 0.7	0.5 ~ 0.6	0.6 ~ 0.7	0.5 ~ 0.6	0.6 ~ 0.7
民間	16.2	18.4	22.4	18.3	21.9	18.2	21.6	18.2	21.1
民間住宅	7.2	8.1	9.5	8.1	9.5	8.1	9.5	8.1	9.5
民間非住宅(建築)	6.9	7.6	9.0	7.6	9.0	7.6	8.9	7.6	8.9
民間非住宅(土木 (道路四公団分))	2.1	2.7	3.9	2.6	3.4	2.5	3.2	2.5	2.7
	—	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

- 注) 1. 数値は、特に明示した以外、全て1995年度価格の実質値である。
 2. 2004・2005年度のGDP成長率は、(財)建設経済研究所「建設経済モデルによる建設投資の見通し(2004年7月)」の実質GDP見通しによる。
 3. 2003年度の建設投資は、国土交通省「平成16年度建設投資見通し(2004年6月)」による。
 4. 政府建設投資の規模は、最終的には政策判断により決定されることから、需要サイドからの予測が必ずしも適切でない。ここでは、複数の変化率を設定することにより予測を行っている。
 5. 維持補修については、2003年度の実績についても、今回の(財)建設経済研究所の推計による。
 6. いわゆる「建設投資」の概念では、従来から、「政府建設投資」に「土木部門の維持補修」が含まれており、今回の予測においても、「建設投資」には「政府土木部門の維持補修」が含まれる。一方、「維持補修」にも「政府土木部門の維持補修」が含まれる。
 7. 四捨五入により千億円単位までの値を示しているため、各項目の合計は必ずしも一致しない。
 8. 2006年度以降、道路関係四公団分は、民間投資・維持補修とし、除外している。

4. ポイント

(1) 建設投資

2003年度 55.2兆円に対し、2010年度は46.9～51.5兆円、2020年度は39.9～51.4兆円。

政府建設投資

ケースA	国・地方・地方公営：	2004年度 11.9%	2005年度 4.6%	2006～2020年度 0%	
ケースB	国：	2004年度 12.0%	2005年度 4.0%	2006～2008年度 3%	2009～2020年度 0%
	地方・地方公営：	2004年度 11.8%	2005年度 5.6%	2006～2020年度 0%	
ケースC	国：	2004年度 12.0%	2005年度 4.0%	2006～2008年度 3%	2009～2020年度 0%
	地方・地方公営：	2004年度 11.8%	2005年度 5.6%	2006～2008年度 5%	2009～2020年度 0%
ケースD	国：	2004年度 12.0%	2005年度 4.0%	2006～2010年度 3%	2011～2020年度 0%
	地方・地方公営：	2004年度 11.8%	2005年度 5.6%	2006～2010年度 5%	2011～2020年度 0%

(いずれのケースも、2004,2005年度は政府建設投資の減少率、2006年度以降は予算の減少率を示す。)

- ・ 2003年度の政府建設投資(見込み)は、23.5兆円。
- ・ 2010年度の政府建設投資の見通しは、15.3～18.5兆円。
- ・ 2020年度の政府建設投資の見通しは、横ばいであるから、同じく15.3～18.5兆円。
- ・ 1995年度の政府建設投資は、35.2兆円で最大を記録。それに比べると、43%～52.6%。

民間住宅投資

- ・ 主世帯数の増減、空家等の増加、建替え戸数等を考慮して推計。
- ・ 2003年度の新設住宅着工戸数(見込み)は、117万戸。
- ・ 2010年度の新設住宅着工戸数の見通しは、109万戸。
- ・ 2020年度の新設住宅着工戸数の見通しは、81万戸。
- ・ 戸当り床面積及び m^2 当たり工事単価は漸増すると予測されるが、新設着工戸数の減少率が大きく、また、着工戸数の減少に伴い増改築も減少すると予測されるため、投資額は減少。
- ・ 2003年度の民間住宅投資(見込み)は、18.4兆円。
- ・ 2010年度の民間住宅投資は、17.9兆円。
- ・ 2020年度の民間住宅投資は、13.3～14.4兆円。

民間非住宅建設投資

- ・ 各使途別(事務所、店舗、工場、倉庫、宿泊施設、学校、病院、その他)の将来のストック床面積を推計することにより着工床面積を算出し、投資額へ変換。

- ・ 民間非住宅建築投資は、年率 1.5%程度の経済成長の場合はほぼ横ばいだが、それを上回る経済成長が実現すれば伸びる。
- ・ 民間土木投資は、減少基調。
- ・ 2003 年度の民間非住宅建設投資（見込み）は、13.3 兆円。
- ・ 2010 年度の民間非住宅建設投資の見通しは、13.6～15.1 兆円。
- ・ 2020 年度の民間非住宅建設投資の見通しは、11.3～18.4 兆円。

（２）維持補修

- ・ スtock量と維持補修の実施状況の関係から推計。
- ・ 高度経済成長期に大量に建設された社会資本設備及び民間建築物が老朽化の時期を迎えるため、維持補修は増大する。
- ・ 2003 年度の維持補修（見込み）は、22.4 兆円。
- ・ 2010 年度の維持補修の見通しは、24.0～24.4 兆円。
- ・ 2020 年度は維持補修の見通しは、27.0～28.5 兆円。